

登録番号 003

京都府立鴨沂高等学校 本館棟	
保存建築物登録年	平成26年
対象建築物となる根拠	条例第2条第2項第1号キ
概要・活用方法等	昭和初期の鉄筋コンクリート造学校校舎の一部について、歴史的価値を継承しながら耐震改修等の改修工事を実施し、保存活用を図る。その他の部分は、解体・建替えを実施。
工事種別	増築



外観

1. 事例の概要

建物概要	活用前	活用後
主要用途	高等学校	同左
構造／階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造／地下1階地上3階建て	同左
建築面積／延べ面積	(保存建築物合計) 1,007.99㎡／2,881.73㎡	(保存建築物合計) 同左
建築年	1934年(昭和9年)	
用途地域／防火地域	第二種中高層住居専用地域／準防火地域	
意匠設計者	株式会社梓設計関西支社 永池 雅人 氏	
構造設計者	株式会社梓設計関西支社 樫野 昇一 氏	

2. 歴史的建築物の保存活用に当たり適合が困難だった主な規定と代替措置

条項	適合困難だった主な規定	安全性確保のための主な代替措置
法第20条	政令で定める技術的基準に適合することは確認していない。	劣化部分の健全化、耐震改修工事
法第35条 (令第119条)	高等学校において、両側に居室がある場合の廊下の幅は、2.3m以上確保する必要があるが、柱間で2.2mしか確保できない。	自動火災報知設備の設置、階段室の縦穴区画及び面積区画の形成 等



講堂内観



避難器具



階段室の縦穴区画形成